

海上技術安全研究所へのアクセス



- ① JR・京王井の頭線「吉祥寺駅」南口より「三鷹農協前」バス停下車 徒歩6分
 3番乗り場：吉01「武蔵境駅南口」行
 4番乗り場：吉06「調布駅北口」行
 8番乗り場：吉14「調布駅北口」行
- ② JR「三鷹駅」南口より「三鷹農協前」バス停下車 徒歩6分
 7番乗り場：鷹54「仙川」、「見華学園東」行
 8番乗り場：鷹55「野ヶ谷」行
- ③ 京王線「調布駅」北口より「三鷹農協前」バス停下車 徒歩6分
 11番乗り場：吉14「吉祥寺駅」行
 11番乗り場：鷹66「三鷹駅南口」行
 12番乗り場：吉06「吉祥寺駅」行


 国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所
海上技術安全研究所
 NMRI ホームページ <https://www.nmri.go.jp/>


〒181-0004 東京都三鷹市新川6-38-1 TEL 0422-41-3005 / FAX 0422-41-3258
 お問い合わせ: info2@m.mpat.go.jp (海上技術安全研究所 企画部広報)

第23回 海上技術安全研究所

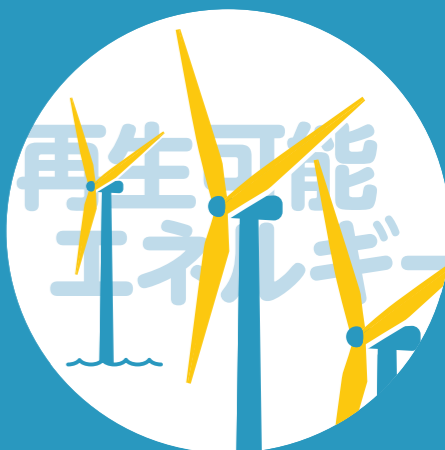
研究発表会

2023.
7.20 木
7.21 金
10:00-16:00


自動
運航




再生可能
エネルギー




ゼロエ
ミッション



DX



事前登録制 /
ハイブリッド方式



聴講無料

海技研 第2期中長期研究計画 始動

講演プログラム **4セッション 12講演**

- 1 海洋の開発
- 2 海洋環境の保全
- 3 海上輸送の安全の確保
- 4 海上輸送を支える基盤的技術開発

ポスター
セッション
21点

会場 **海上技術安全研究所 講堂** 東京都三鷹市新川6-38-1



7月20日(木)

10:00-10:05 開会の挨拶 所長 峰本 健正

セッション 1 海洋の開発 座長：正信 聡太郎

10:05-10:10 インTRODクシヨン

10:10-10:45 1 海洋開発のためのマリンオペレーションと資源開発技術に関する研究への取り組み 山本 譲司

10:45-11:20 2 先進的海洋無人機システムの創出に向けた海技研の取り組み 金 岡秀

11:20-11:55 3 海技研におけるこれまでの海洋再生エネルギー研究の総括と将来展望 中條 俊樹

11:55-12:00 総括

12:00-13:30 昼食・ポスターセッション

セッション 2 海洋環境の保全 座長：辻本 勝

13:30-13:35 インTRODクシヨン

13:35-14:10 4 船舶性能統合データベースによる実海域実船性能向上の構想 黒田 麻利子

14:10-14:45 5 環境・動力系における GHG 削減・環境保全への取り組み 益田 晶子

14:45-15:20 6 GHG 削減に向けた代替燃料燃焼技術に関する研究の展望 仁木 洋一

15:20-15:25 総括

15:25-16:00 ポスターセッション

7月21日(金)

セッション 3 海上輸送の安全の確保 座長：間島 隆博

10:00-10:05 インTRODクシヨン

10:05-10:40 7 船舶の安全運航のための性能評価に関する研究 大森 拓也

10:40-11:15 8 自動運航船技術の実装と評価に向けて 南 真紀子

11:15-11:50 9 新コンセプト船を支えるリスク解析技術に関する研究 三宅 里奈

11:50-12:25 10 船舶の構造強度評価技術に関する研究の成果と今後の研究計画 岡 正義

12:25-12:30 総括

12:30-14:00 昼食・ポスターセッション

セッション 4 海上輸送を支える基盤的技術開発 座長：岩田 知明

14:00-14:05 インTRODクシヨン

14:05-14:40 11 DX 造船所の実現に向けた研究開発 松尾 宏平

14:40-15:15 12 ビッグデータの活用による輸送システムの高度化に関する研究 荒谷 太郎

15:15-15:20 総括

15:20-15:25 閉会の挨拶 研究統括監 藤原 敏文

15:25-16:00 ポスターセッション

ポスターセッション

海洋の開発

- 1 洋上風力発電アクセス船の風車タワーへの乗り移り性能評価 大坪 和久
- 2 鉛直な気液三相流の摩擦損失推定手法 高野 慧
- 3 複雑海底地形照合による AUV 自己位置推定手法 佐藤 匠
- 4 浮体式洋上風力発電の係留システムに関する洋上施工時間推計モデルの定式化と解析 蓮見 知弘
- 5 浮体式洋上風力発電の浮体運動を用いた係留索のモニタリングについて 平尾 春華

海洋環境の保全

- 6 船用プロペラの翼端渦の PIV 計測とその解析方法 新川 大治朗
- 7 全球の波と風のデータベース「GLOBUS cloud」の開発と船舶の運航への利用 金子 杏実
- 8 PIV を用いた波浪中自航状態の省エネデバイスまわりの流場計測手法の開発 若生 大輔
- 9 船舶起源の環境問題に対する環境・動力系の国際基準への取り組み 小島 隆志
- 10 水素専焼ガスエンジンの技術開発 市川 泰久
- 11 液体代替燃料評価に向けた現状と課題 高木 正英
- 12 船用実機スケールの燃焼過程を模擬する大型燃焼試験装置の開発と展望 川内 智詞

海上輸送の安全の確保

- 13 船舶復原性研修による安全性向上への取り組み 黒田 貴子
- 14 操縦性指標を適応度の評価に用いた遺伝的アルゴリズムに基づく操縦運動モデルの係数同定手法に関する基礎的検討 大田 大地
- 15 アンモニア燃料の漏えい事象を対象としたガス拡散解析 木村 新太
- 16 燃料タンク配置に係る代替設計支援ツールの開発 工藤 潤一
- 17 粒子法数値解析に基づく HMD 型デジタルツインシミュレータの開発 馬 沖

海上輸送を支える基盤的技術開発

- 18 深さ優先探索に基づく大組ブロックのリソース制約付き二次元定盤配置計画 谷口 智之
- 19 流用設計における M-BOM 生成に関する検討 森下 瑞生
- 20 人工海水環境下における HMPE の疲労強度取得実験 津村 秀一
- 21 国際海運における GHG 削減対策の影響評価のためのモデル開発 和田 祐次郎

ポスター展示 10:00-16:00